

I-3 健康増進課

1 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進

保健・医療・福祉包括ケアシステムとは、地域のすべての住民がたとえ疾病や障害をもっても、生きがいを持ち、安心・安全な生活を送ることを目的に、保健・医療・福祉等の各機関が十分に役割を果たすことができる仕組みを推進するものです。

(1) 下北地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議

保健・医療・福祉包括ケアシステムの構築に向け、2次保健医療圏及び市町村の実情に応じた体制整備について協議検討を行うため、下北地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議を開催しました。平成20年度から下北地域保健医療推進協議会と併催し、健康あおもり21下北圏域計画（第2次）の推進について協議しました。

開催日	開催場所	出席者
平成29年 3月2日(木)	むつグランドホテル	27人 (委員：14人、オブザーバー：5人、事務局：8人)

(2) 地域・職域連携推進協議会

地域保健と職域保健の連携により、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備することを目的とし、地域・職域連携推進協議会を開催しました。平成21年度から地域保健医療推進協議会保健対策部会と併催し、健康あおもり21下北圏域計画（第2次）の推進について協議しました。

開催日	開催場所	出席者
平成29年 3月2日(木)	むつグランドホテル	27人 (委員：14人、オブザーバー(市町村)：5人、事務局：8人)

(3) 認知症地域連携懇談会

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会の実現を目指し、認知症の早期発見・早期対応のための体制整備や医療及び介護の連携の推進を図ることを目的に懇談会を開催しました。

開催日	内容	開催場所	出席者
平成28年 10月27日	1 県高齢福祉保険課より情報提供 「県の認知症施策と市町村における認知症対策の進捗状況について」 2 情報交換及び意見交換 「認知症総合支援事業の推進に向けて」	公済会館	25人 ・市町村(委託地域包括支援センター含)：20人 ・県高齢福祉保険課：1人 ・むつ保健所：4人

(4) 下北管内で開催されている各種協議会等への参加

保健・医療・福祉の関係者が連携を強化し、地域にある既存の社会資源を有効活用し、サービスを必要な人に一体的に提供できることを目的とした各種会議等に委員として参画しました。

<下北管内で開催されている各協議会等への参加>

会議名	開催日及び内容	場所
下北地域連携パス推進協議会及び実務者連絡会	・公務都合により欠席	
むつ下北地域看護と介護の連携作り委員会	・情報交換：3回(H28. 5. 26、8. 14、H29. 2. 23) ・研修会：1回(H28. 10. 1) ※むつ下北地域橋渡し研修会	むつ総合病院
むつ下北地域橋渡し研修会	H28. 10. 1(土)開催 ・講演 ・むつ市内訪問看護ステーションPR ・公開座談会	プラザホテル むつ
下北地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会	・協議会：開催なし ・研修会：参加なし	
むつ市地域ケア会議	・合同会議：2回(H28. 4. 10、H29. 3. 15) ・合同研修会：1回(H28. 5. 13)	むつ市役所
むつ市在宅医療・介護連携推進協議会	H28. 10. 27(木)開催 ・委員として出席	むつ市役所

(5) 市町村保健福祉活動への支援

市町村が行う保健福祉サービスの向上と、県内・圏域における保健福祉に関する情報の収集・提供等を行うことにより、管内地域健康福祉施策の円滑な実施を図ることを目的に、市町村の求めに応じて、下北地域県民局地域健康福祉部が持つ機能を活用し支援を行っています。

<市町村保健福祉活動への支援>

市町村名	市町村からの要望とその他の支援内容	支援回数
むつ市	①食生活改善推進員総会、研修会、養成講座 ②下北地域県民局とむつ市の情報交換会 ③現地懇談会打合せ、現地懇談会 ④精神ケース検討、同行訪問 ⑤むつ市要保護児童対策協議会 ⑥その他の支援 ・むつ市要保護児童対策地域協議会代表者会議 ・むつ市地域保健協議会 ・H28年度障害福祉計画等策定委員会 ・高齢者・障害者虐待防止等連絡協議会 ・地域ケア会議 ・むつ市在宅医療・介護連携推進協議会	年46回
大間町	①保健協力員会総会・研修会 ②食生活改善推進員総会・研修会 ③保健活動打合せ・評価会 ④健康づくり推進協議会	年8回

	⑤大間町連合PTA研修会におけるMUE Nタウン事業コーナー設置 ⑥ケース検討(在宅重症心身障害児)	
東通村	①保健師活動打ち合わせ・評価会 ②健康づくり推進協議会 ③ヘルスプロモーション推進会議 ④国保連ヘルスサポート事業ヒアリング ⑤食生活改善推進協議会総会・研修会 ⑥保健協力員総会・研修会 ⑦健康まつり(保健所ブース設置)	年16回
風間浦村	①保健活動計画会議・評価会 ②食生活改善推進委員会総会・研修会 ③保健協力員総会・研修会 ④健康づくり推進協議会 ⑤ゆかい村フィットネス倶楽部 ⑥海鮮どんぶり祭りにおける健康増進コーナー設置 ⑦職員のための健康セミナー	年15回
佐井村	①保健協力会、食生活改善推進協議会合同研修会 ②健康づくり推進協議会 ③メディコトリムフォロー教室 ④保健活動打合せ・評価会 ⑤ヘルスアップ in 佐井におけるMUE Nタウン事業コーナー設置	年6回

2 健康づくり

(1) 喫煙対策推進事業

喫煙はがん及び心臓病の重要な危険因子とされるとともに、また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙による健康被害に対する予防意識の普及啓発を図ることを目的に事業を実施しました。

ア 「空気クリーン車(受動喫煙防止対策実施車両)」推進事業

現在、空気クリーン施設の登録は203件になっています。

<平成28年度登録状況>

認証施設の 種類	官 公 庁	文 化 施 設	保 育 施 設	教 育 施 設	医 療 施 設 (機 関)	福 祉 ・ 介 護 施 設	体 育 施 設	事 業 所	公 共 交 通 機 関	飲 食 店	宿 泊 施 設	そ の 他	タ ク シ ー 等 の 車 両	計
交付済数	10	6	72	38	25	2	27	0	11	1	10	1	203	

イ その他

事業名	テーマ	対象者 参加者	内容
研修会	①受動喫煙と「空気クリーン施設」について ②たばこもダメ！絶対！ ③受動喫煙対策について	①食品衛生責任者講習会 受講者 4回 210名 ②・むつ市立関根中学校 全校生徒、教員 37名 ・大湊高校川内庁舎生徒、教員 15名 ③下北地区労働災害防止 団体等 10団体、13名	①ミニ講話 ②防煙教室 ③健康教育
検討会	①妊産婦の喫煙対策について ②飲食店及び住民への受動喫煙に係るアンケート結果について	①むつ・下北管内母子保健ネットワーク会議 出席者 15名 ②むつ市料理飲食店組合に加盟する営業者	①意見交換 ②アンケート結果説明及び意見交換
広報活動	①ポスターの掲示・パンフレット配布 ②合同庁舎内放送	①一般住民、親と子のよい歯のコンクール参加者 ②県民局職員	①禁煙週間普及啓発及び空気クリーン施設依頼時配布 ②禁煙週間普及啓発
その他	若者の禁煙サポート推進事業	むつ市すこやかサポート事業所 12か所	電話等による周知・事業利用勧奨

(2) 糖尿病予防対策

糖尿病保健医療連携支援システム構築事業（管内独自の取組）

糖尿病精検結果、治療不要となった方が、糖尿病の発症を防ぐための生活習慣改善に取り組めるよう平成 21 年度むつ市とむつ総合病院をモデルとして医療連携支援システムの構築を目的として事業を展開し、平成 22 年度以降は大間病院や開業医と管内町村へ連携を拡大しました。

(3) 減塩の推進とバランスのよい食生活の普及

食の環境づくり（青森のおいしい健康応援店認定事業）

「肥満予防」「食塩摂取量の減少」「野菜摂取量の増加」を踏まえた食事メニューの提供を行う飲食店等を認定し、県民が外食等を利用する際に適切なメニューを選択できる食環境の整備を図ることを目的として実施しました。

管内における認定店は 0 件でした。

3 栄養改善

(1) 給食施設栄養管理指導事業

安全で栄養効果がある給食実施が適切に行われるために、給食従事者に対し栄養管理、衛生管理等について研修会や個別巡回指導を実施しました。

ア 給食施設栄養管理指導事業研修会

開催日	内 容	場 所	参加者
平成 28 年 12 月 27 日 (火)	講義「下北地域の生活習慣病の傾向について」	むつ保健所	栄養教諭、学校栄養職員、 臨時学校栄養職員 8 名

イ 給食施設巡回指導

年度	個別巡回指導		給食施設数	
	栄養士の いる施設	栄養士の いない施設	栄養士の いる施設	栄養士の いない施設
26	43	28	44	28
27	46	27	46	27
28	47	22	47	22

(2) 市町村栄養改善業務支援事業

市町村保健計画の企画・立案及び地域住民を対象とした栄養相談等の栄養改善業務に従事する者の資質の向上を図り、市町村の栄養改善事業の推進を図ることを目的としています。

管内市町村栄養士の配置は、平成 28 年 4 月現在、むつ市に 4 名配置されています。そのほかの管内町村の栄養改善業務は、主に在宅栄養士が担当しています。

ア 連絡調整会議・研修会

	開催日	内 容	場 所	出席者
連絡調整会 議・研修会	平成28年 4月26日 (火)	誇大表示について 研修及び意見交換	むつ保健所	むつ市健康推進課 2 名

イ 保健所栄養士による市町村栄養改善業務援助回数

年度	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	合計
26	7	2	2	1	0	12
27	4	1	2	0	0	7
28	3	2	0	1	1	7

4 母子保健

(1) 未熟児等情報共有システム

未熟児は、正常な新生児に比べて生理的に未熟で、疾病にかかりやすく、心身に障害を残すことがあり、未熟児を養育する保護者の不安等も強いことから、未熟児等訪問指導を通じて育児支援を適切にすすめ、関係機関と情報を共有し連携体制構築のため運用しています。

＜平成 28 年度未熟児等情報共有システム運用状況＞

市町村	低出生体重児数	未熟児等出生連絡票 受理数	未熟児等訪問指導連絡票 発行数
むつ市	25 件	16 件	17 件
大間町	4 件	0 件	0 件
東通村	0 件	0 件	0 件
風間浦村	0 件	1 件	2 件
佐井村	0 件	0 件	0 件
計	29 件	17 件	19 件

(2) 身体障害児等療育相談事業

身体の機能に障害のある児又は機能障害を招く恐れのある児を早期に発見し、適切な治療上の指導を行い、その障害の治療もしくは軽減を図ることを目的に療育相談を年 4 回開催しました。

また、身体障害児について障害の状態及び療育の状況を随時把握し、その状況に応じて適切な福祉の措置について指導しています。

＜相談者数、相談結果(相談者数の内、新規利用者数)＞

	5 月	8 月	11 月	2 月	計
要治療	0	0	1	0	1
経過観察	6	5	2	5	18
異常なし	0	0	0	0	0
計	6	5	3	5	19 (実人員 10)

＜相談内容(延件数)＞

	計
肢体不自由	13
補装具相談	5
視覚障害	2
聴覚・平衡機能障害	2
音声・言語・咀嚼機能障害	15
その他(栄養指導等)	2
計	39

(3) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整やその他の事業を行います。

ア 療育相談（ひまわり相談・面接指導等）の実施状況

	利用者数延人数(実人員)			相談内訳数(延人数)								
	計	男	女	申請	医療	看護	福祉	就学	栄養	歯科	他	計
定期 (12回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
随時	29 (16)	12 (7)	17 (9)	21	3	9	1	1	1	0	7	43
合計	29 (16)	12 (7)	17 (9)	21	3	9	1	1	1	0	7	43

イ 訪問指導 ※アの再掲

訪問指導者数		
計	男	女
(1)	(0)	(1)
1	0	1

疾患名

- ・悪性新生物
- ・膠原病
- ・糖尿病
- ・神経・筋疾患
- ・慢性心疾患 等

ウ 電話相談 : 延べ人数 1人

(4) 妊産婦支援体制整備事業

ア 母子保健ネットワーク会議

母子が健やかに妊娠、出産を迎え、育児を行うことができるよう、母子保健における課題について関係機関が協議を行い、連携を一層強化することを目的として行っています。

構成団体（医療、保健、福祉、その他団体の関係者）

開催日	内 容	場 所	参加者
平成 28 年 12 月 1 日 (木)	平成 28 年度むつ・下北管内母子保健ネットワーク会議 (1) 情報提供内容 ・県医療薬務課から、ハイリスク妊産婦アクセス支援事業について ・H27 年度妊産婦及び未熟児等情報共有システム運用状況 (2) 協議テーマ ・ハイリスク妊産婦の妊娠期の支援について（むつ総合病院から事例提供）、助言者：北村副院長	むつ保健所 会議室	構成団体 8 団体 15 名

(5) 女性健康支援事業

思春期から更年期にいたる女性はその健康状態に応じ的確に自己管理を行うことができるよう支援します。

相談状況

月 1 回の定期相談の開催、来所及び電話による随時相談を行い、相談件数は 14 件でした。

(6) 各種医療給付及び検査実施状況

ア 小児慢性特定疾病医療費助成制度

この制度は、長期にわたり療養を必要とする児童の健全育成を目的として、対象疾病の治療にかかった費用の一部を公費によって助成するとともに、治療方法等の情報を今後の治療研究に生かすものです。平成 27 年 1 月 1 日から制度改正となり、対象疾病は 11 疾患群から 14 疾患群に追加・整理されました。

平成 28 年度末現在、管内で小児慢性特定疾病医療受給者証を所持する対象児童数は 79 名となっています。

イ 小児慢性特定疾病児童手帳交付事業

上記アの対象児童に対し、緊急の連絡先等を記載する手帳（愛称：ひまわり手帳）を交付しています。平成 28 年度の管内の交付件数は 11 件となっています。

ウ 先天性代謝異常等検査

先天性代謝異常等検査は発見が遅れると障害の原因になる先天性の疾患を早期に発見し、治療することを目的として全ての新生児を対象に実施しています。

平成 25 年度から、新たな検査方法（タンデムマス法）が導入され、19 疾患について検査することが出来るようになりました。

先天性代謝異常検査結果、偽陽性であったのは 1 件、正常 0 件、確定診断 0 件あり、市町村保健師へ情報提供し、精密検査の受診を推奨するよう依頼しました。

5 歯科保健

(1) 親と子のよい歯のコンクール

幼児や保護者及び地域社会の歯科保健への関心を高めるため、健康な歯をもつ親と子を表彰し、むつ・下北地域の母子歯科保健の推進を図るものとして、平成 28 年度「親と子のよい歯のコンクール」第 1 次選考会をむつ下北歯科医師会と共催で実施しました。

第 1 次選考会では、管内市町村から推薦のあった対象者 32 組のうち 16 組が参加し、参加者の中から第 1 位の親子を決定、また参加者全員を表彰しました。

<開催実績>

開催日	内 容	場 所	参加者
平成28年 6月4日（土）	(1) 下北地域県民局地域健康福祉部 保健総室長挨拶 (2) むつ下北歯科医師会会長講評 (3) 第1位者発表 (4) 第1次選考会参加者表彰	下北文化会館 2階大集会室	管内市町村より推薦の あった親子32組のうち 16組

<参加実績>

年度	コンクール対象者 (3歳児健診むし歯0本児等)	第1次選考会参加者数
26	65組	27組
27	77組	28組
28	32組	16組

6 精神保健福祉

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者申請・通報・届出及び移送の状況（平成 28 年度）（単位：件）

区 分	申請通報 届出件数	調査により 診察の 必要がないと認め た者	診察を受けた者		移送を行った件数		
			法第 29 条 該当症状 の者	法第 29 条 該当症状 でなかつ た者	調査から 1 次診察 場所まで	1 次診察 場所から 2 次診察 場所まで	2 次診察 場所から 病院まで
一般の申請							
警察官の通報	1			1	1		
検察官の通報	1	1					
保護観察所長の通報							
矯正施設の長の通報	3	2	1				1
病院の管理者の届出							
計	5	3	1	1	1		1

イ 措置入院者（単位：人）

27 年度末患者数	28 年度中新規患者数	28 年度中解除患者数	28 年度末患者数
0	1	0	0

ウ 入院形態別患者数（管内医療機関 平成 29 年 3 月 31 日現在）（単位：人）

	総 数	措置入院	医療保護入院	任意入院	その他の入院
平成 26 年度	48		30	18	
平成 27 年度	47		31	16	
平成 28 年度	47		33	12	

エ 病名別入院患者数（管内医療機関 平成 29 年 3 月 31 日現在）（単位：人）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
統合失調症	35	27	23
躁うつ病	10	7	5
精神神経症		1	1
精神病質			
精神遅滞		3	
てんかん		3	2
中毒性精神障害	1		
その他及び不明			
脳器質性精神障害	2	4	15
その他の精神病		2	1
計	48	47	47

オ 精神障害者保健福祉手帳所持者数（各年度末日現在）

（単位：人）

	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計	
平成26年度	445	28	44	10	15	542	
平成27年度	486	31	47	11	16	591	
平成28年度	計	532	37	52	11	18	650
	1級	124	7	15	3	5	143
	2級	334	22	26	7	11	400
	3級	74	8	11	1	2	96

カ 自立支援医療受給者証（精神通院）所持者数（平成29年3月31日現在）

（単位：人）

	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
症状性を含む器質性精神障害	21	1	4			26
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	14		2	1		17
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	375	25	34	10	11	455
気分（感情）障害	149	14	9	7	6	185
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	66	1	3			70
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	1					1
成人の人格及び行動の障害	8		1			9
知的障害（精神遅滞）	28		3		1	32
心理的発達の障害	42		2	2		46
小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び詳細不明の精神障害	6	1	1			8
てんかん	73	9	9	5	4	100
その他の精神障害						0
分類不明	41	1	2		1	45
計	824	52	70	25	23	994

(2) 精神保健福祉相談状況

実施日 指定日 (年5回) 受付時間 午後2時～3時 従事者 精神科医
 毎月第1月曜日 受付時間 午後1時～2時 従事者 保健師

<相談内容別相談件数>

(単位：件)

		平成27年度相談件数	平成28年度相談件数	相談内容別															
				受診・入院について	通院・服薬について	生活指導等について	経済的問題	性格・行動上のこと	患者への接し方について	アルコールについて	薬物について	人間関係について	施設入所について	社会復帰について	福祉サービスについて	ひきこもりについて	自殺関連	思春期	その他
来所	定期	10	9	2				2	2							1			2
	随時	14	23	3	2	6	1	1	2						1		3	2	2
	電話	68	63	5	1	5	3	8	4			3			3	1	4	2	24
	計	92	95	10	3	11	4	11	8			3			4	2	7	4	28

(3) 家庭訪問指導状況

<家庭訪問指導件数>

(単位：件)

	平成27年度	平成28年度	対象者別訪問状況				支援内容 (延件数)							
			総計	一般	社会復帰	アルコール	受診に向けた調整	通院・服薬指導	生活指導	アルコール	薬物	社会復帰	自殺関連	
延数	46 (16)	64 (18)	64 (18)	64 (18)			3	17	29				1	6

※ () 内の数値は実数

(4) 自殺対策事業

ア 地域特性を踏まえた自殺対策力強化事業

(ア) 地域自殺対策官民連携協働会議

開催日	出席者	内容
平成 29 年 2 月 8 日 (水)	労働関係、経済問題相談窓口、医療機関、市町村等計 20 名 (事務局含む)	自殺対策関係者ネットワーク会議 (こころの相談関係者ネットワーク会議) 1 情報提供 「下北地域における壮年期の自殺統計について」 むつ保健所健康増進課 技師 尾野 ゆかり 2 講演 「壮年期の自殺について」 講師 県立精神保健福祉センター 所長 田中 治 3 意見交換

(5) 市町村活動への支援

ア 事例検討会への参加等

市町村名	内 容
むつ市	要保護児童ケース会議 (2 事例、計 6 回)、処遇検討 (6 事例、計 10 回) 退院前カンファレンス (3 事例、計 3 回)

イ 市町村との同行訪問

受診援助や継続ケース等への同行訪問を 19 件行いました。うち、市町村保健師との同行訪問は 23 件でした。

(6) 精神障害者家族会及び当事者への支援

ア 精神障害者家族会

家族会名	内 容
むつ下北メンタル福祉家族会連合会	・下北地域メンタル家族会学習・交流会に参加 (1 回)
大畑町メンタル福祉家族会ひばの会	・総会に出席 (1 回)

<管内家族会の状況>

家族会名	設立年月日	事務局	会員数 (H28 年度末)
あじさいの会 (むつ市)	昭和 63 年 11 月 9 日	アックス工房内	休止中
北通り地区精神障害者家族会	平成 5 年 3 月 10 日	風間浦村村民生活課	10 人
ふれあい家族会 (川内町)	平成 6 年 7 月 7 日	むつ市役所川内庁舎	休止中
ひばの会 (大畑町)	平成 13 年 4 月 11 日	むつ市役所大畑庁舎	7 人
むつ下北メンタル福祉家族会連合会	平成 21 年 7 月 23 日	アックス工房内	
きさらぎの会 (アックス工房)	平成 23 年 2 月 27 日	アックス工房内	25 人
東通村いちいの会 (※ 3 障害の家族会を統合)	平成 26 年 4 月 1 日	東通村社会福祉協議会	37 人

イ 当事者の会「なごみの会」

平成 28 年 4 月～休会中。

(7) 関係機関等連絡会議

会議名	開催月日	場所	開催内容	出席者
精神保健福祉関係者連絡会議	平成 28 年 7 月 19 日 (火)	青森県むつ健康福祉庁舎 共用会議室	1 説明及び質疑応答 ・自立支援医療及び精神保健福祉手帳の事務手続き ・平成 28 年度通院医療費等判定会開催予定日について 2 情報交換 ・平成 28 年度管内市町村及びむつ保健所の精神保健福祉活動について	市町村保健福祉障害担当事務、保健師、事務局 (保健所) 計 12 名
精神科救急医療システム連絡調整委員会	平成 28 年 11 月 9 日 (水)	公済会館	1 整備事業概要について 2 救急医療システム実績報告 3 救急医療システム実施状況 4 意見交換 保健所での移送車の確保、通報に係る受け入れ態勢、アルコール関連の意見が出された。	委員 7 名 オブザーバー 4 名 事務局 5 名 計 16 名

(8) 地域生活支援広域調整等事業

平成 26 年 4 月の精神保健福祉法の一部改正により、精神障害者の地域生活への移行促進に向けた見直しが行われました。精神障害者本人とその家族が、住み慣れた地域で適切な医療を受け、本人が希望する生活を送ることができるよう、医療・保健・福祉分野の関係機関が連携して支援する体制づくりが必要となっています。

平成 27 年度は、病院関係者に地域移行についての理解と地域スタッフの役割を知ってもらうための情報交換会を実施しました。

ア 下北地域生活支援広域調整会議

開催日	出席者	内 容
平成 29 年 1 月 25 日 (水)	医療機関 4 名 (医師、看護師、精神保健福祉士) 障がい者就業・生活支援センター 1 か所 1 名 相談支援事業所 4 か所 6 名 就労支援事業所 6 か所 11 名 グループホーム 1 か所 2 名 市町村 4 名 保健所 3 名 計 31 名	1. 情報提供 「下北地域の長期入院者の現状について」 2. 話題提供 「地域移行に向けて支援の実際について」 むつ総合病院 精神保健福祉士 室館 洋史氏 ハートランドさくら 相談支援専門員 吉田麻衣子氏 3. 意見交換 「地域移行をすすめるために私たちができること」

7 難病

(1) 指定難病医療費助成制度及び特定疾患治療研究事業

原因不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、厚生労働省が定める疾病を指定難病といい、指定難病の患者に対して治療に係る医療費の一部を助成する制度を行っています。平成 27 年 1 月 1 日から「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、同年 7 月 1 日までに医療費助成の対象疾病が段階的に 306 疾病まで拡大されました。なお、制度改正前に特定疾患治療研究事業で対象であった 5 疾患については、負担の軽減を図ることを目的に同事業で医療費の一部を公費負担しています。

平成 28 年度末における医療受給者は 589 名です。

ア 病名別特定医療受給者数

疾病 番号	病 名	受 給 者 数		
		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
002	筋萎縮性側索硬化症	6	6	7
005	進行性核上性麻痺	3	4	3
006	パーキンソン病	72	77	74
007	大脳皮質基底核変性症	1	2	2
011	重症筋無力症	9	11	10
013	多発性硬化症／視神経脊髄炎	10	12	12
014	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	1	1	1
017	多系統萎縮症	5	6	5
018	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	30	30	30
019	ライソゾーム病	4	5	5
021	ミトコンドリア病	2	2	2
022	もやもや病	10	10	8
023	プリオン病			1
026	HTLV-1 関連脊髄症			1
028	全身性アミロイドーシス	2	1	1
034	神経線維腫症	4	5	5
035	天疱瘡	2	2	2
037	膿疱性乾癬 (汎発型)	1	1	1
038	スティーヴンス・ジョンソン症候群			1
040	高安動脈炎	5	6	5
042	結節性多発動脈炎	2	2	1
043	顕微鏡的多発血管炎	4	4	4
044	多発血管炎性肉芽腫症	2	2	2
045	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症		1	2
046	悪性関節リウマチ	5	6	5
047	バージャー病	11	10	10
049	全身性エリテマトーデス	30	30	31
050	皮膚筋炎／多発性筋炎	6	6	6

疾病 番号	病 名	受 給 者 数		
		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
051	全身性強皮症	8	7	7
052	混合性結合組織病	8	8	8
053	シェーグレン症候群		1	5
054	成人スチル病			1
056	ベーチェット病	15	16	16
057	特発性拡張型心筋症	10	11	10
058	肥大型心筋症		2	2
060	再生不良性貧血			1
061	自己免疫性溶血性貧血			1
063	特発性血小板減少性紫斑病	15	18	17
065	原発性免疫不全症候群	1	1	2
066	IgA 腎症		7	5
067	多発性嚢胞腎		1	
068	黄色靭帯骨化症	6	6	7
069	後縦靭帯骨化症	44	42	42
071	特発性大腿骨頭壊死症	22	22	22
074	下垂体性 PRL 分泌亢進症	1	1	1
077	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1	1	2
078	下垂体前葉機能低下症	12	12	12
081	先天性副腎皮質酵素欠損症		1	1
084	サルコイドーシス	16	19	18
085	特発性間質性肺炎	2	6	7
086	肺動脈性肺高血圧症			1
089	リンパ脈管筋腫症	1	1	1
090	網膜色素変性症	14	13	13
093	原発性胆汁性肝硬変	20	20	18
095	自己免疫性肝炎		2	4
096	クローン病	32	32	33
097	潰瘍性大腸炎	79	78	78
113	筋ジストロフィー			3
117	脊髄空洞症		1	
119	アイザックス症候群			1
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症		1	1
218	アルポート症候群			1
222	一次性ネフローゼ症候群		6	7
271	強直性脊椎炎			1
296	胆道閉鎖症			1
306	好酸球性副鼻腔炎		1	2
	合 計	534	579	589

イ 病名別特定疾患医療受給者数

	病 名	受 給 者 数		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
1	スモン	1	1	1
2	プリオン病（ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。）			
3	重症多形滲出性紅斑（急性期）			
4	難治性の肝炎のうち劇症肝炎			
5	重症急性膵炎			
合計		1	1	1

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

ア 難病患者等相談事業

(ア) 医療相談

難病患者やその家族の医療及び日常生活上の相談に対し、専門職による指導・助言を行い、在宅療養における疾患等に対する不安の解消を図りました。

開催日、開催場所	対象	参加者数	内 容	個別相談
平成 28 年 9 月 20 日(火)	神経・筋疾患	6 名 患者 5 名 家族 1 名	①講話 「便秘によい食事と習慣」 講師： むつ保健所 管理栄養士 中村広美 ②交流会 「近況報告」	なし
平成 28 年 10 月 31 日(月) むつ来さまい館 イベントホールB	神経・筋疾患	16 名 患者 10 名 家族 6 名	①講話・実技 「自宅で転ばないために ～安全に行える転倒予防運動～」 講師： むつリハビリテーション病院 理学療法士 菊池修一 ②交流会 「いろいろな悩みやつらさ、喜び などなんでも話し合しましょう」 ③個別相談	

(イ) 訪問相談

医療相談に参加できない難病患者・家族が抱える日常生活及び療養上の悩みに対して相談を行うため、3名の在宅保健師に訪問相談員の証を交付し、選定した難病患者へ継続して訪問支援をしました。活動日数は10日、活動件数は延べ25件（実件数13件）でした。

(3) 青森県重症難病患者在宅療養支援事業

一時入院は2名の患者が利用登録を行いました。

(4) その他の活動

ア 家庭訪問

主に患者や家族、関係機関から訪問依頼があった患者等に対して訪問しました。実件数30件、延べ49件行いました。

イ 所内面接指導

特定医療受給者証新規交付時や更新時及び随時相談を行いました。541件の相談件数でした。相談内容は、申請等に関すること、医療、家庭看護、福祉制度、就労、食事・栄養に関するもの等でした。

ウ 電話相談

随時電話相談を行い、相談件数は4件でした。

8 人材育成

(1) 初任期及び新任期保健師研修

初任期及び新任期保健師が保健師の専門性を発揮し、「みる」「つなぐ」「動かす」という地域保健活動を展開できるよう、対人支援や保健事業実施のための基本的な実践能力を身につけることを目的に研修会を開催しました。

<初任期>

- ・対象者なしのため開催なし

<新任期>

- ・対象者：4人（むつ市：1人、保健所：3人）
- ・2回開催

	開催日	内容	場所	参加者
1	平成28年 10月26日	・講話「保健師活動の推進について」 講師：むつ保健所 健康増進課長 ・演習及び意見交換 「住民のニーズに合った保健活動ができているだろうか～担当業務を通して考える～」	むつ健康福祉庁舎	3人
2	平成29年 3月10日	・事例検討 ・情報交換及び意見交換 「今年度を振り返ろう」 (到達目標及び行動目標達成度チェック)	むつ健康福祉庁舎	3人

(2) 青森県新任等保健師育成支援事業

市町村の20歳代等の若手保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援を行い、「地域を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることを目的に実施しています。

平成28年度は対象者なしのため、事業の活用はありませんでした。

(3) 青森県保健所保健師等育成支援事業

地域県民局地域健康福祉部保健総室の新任保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援を行い、「地域を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることを目的に実施しています。

平成28年度は対象者なしのため、事業の活用はありませんでした。

(4) 保健師連絡会議

市町村のリーダー期及びリーダー保健師がその機能を発揮し、チームリーダーとしての役割を果たすことを目的に開催しました。

- ・対象者：22人（管理期：5人、中堅後期：17人）
- ・2回開催

	開催日	内容	場所	参加者
1	平成28年 8月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「最近の公衆衛生の動向」 講師：むつ保健所 矢野医師 ・講話及び意見交換 「保健師の人材育成に向けた体制づくりについて～中堅期保健師を中心に～」 講師：県がん・生活習慣病対策課 館田主幹 	むつ健康福祉 庁舎	14人 ・市町村：8人 ・保健所：6人
2	平成29年 2月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供 「元気で活気あるむつ市を目指して～若い世代へのアプローチ～」 ・研修伝達 「今、リーダーに問われている保健師の人材育成、期待されること」 ・協議及び情報交換 「平成28年度重点事業、新規事業等の取組状況について」 	むつ健康福祉 庁舎	14人 ・市町村：8人 ・保健所：6人

(5) 看護学生等実習

実習学校名	実習期間・学生数	実習内容
青森県立保健大学健康科学部看護学科 「保健学コース」	7月11日～14日 6名	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・所長、次長、各課長、各課担当者（母子・難病・精神・結核・感染症等）からの業務説明 ・家庭訪問見学、訪問後カンファレンス
弘前医療福祉大学保健学部看護学科	10月5日 10名	
弘前学院大学看護学部看護学科	5月31日～6月3日 4名	
青森県立保健大学健康科学部栄養学科	6月20日～24日 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・所長、次長、各課長、各課担当者（母子・健康づくり・地区組織活動）からの業務説明 ・健康教育、1歳6か月児健診・給食施設巡回指導等見学
東北生活文化大学家政学部家政学科 健康栄養学専攻	6月20日～24日 1名	

9 総合的地域診断システム構築事業

地域及び保健所関連業務に係るデータを総合的に分析し、企画評価に活用することにより、複雑多様化する健康課題の解決に向けた確で効果的な健康施策を推進することを目的に、市町村地域診断等に関することとして、特定健診・レセプトデータ等の集計及び総合的地域診断システム推進事業を実施しました。

(1) 市町村地域診断等に関すること

これまでも特定健康診査データ及びレセプトデータを用いた地域診断を実施してきたが、レセプトデータをより分析しやすいように新たにツールが作成されたことから、このツールを用いて、市町村がレセプトデータの分析を行うことにより、地域診断を実施し、より効果的で効率的な「健活」を推進できるようにすることを目的に実施しました。

(2) 総合的地域診断システム推進事業

県本庁や保健所が担うべき情報分析機能を強化するために、ITを活用した「知(情報)の伝承」システムを構築するため、難病・精神関係の分析のためのツールが平成23年度開発され、相談等で活用が図られています。

10 組織育成

(1) 保健協力員連絡会

健康づくりの担い手である保健協力員活動の活性化を図り、地域住民の健康水準の向上につなげるために、自主的活動に向けての支援を行いました。

ア 市町村保健協力員配置状況(平成28年度)

(単位:人)

市町村名	むつ市 むつ地区	むつ市 川内地区	むつ市 大畑地区	むつ市 脇野沢地区	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
協力員数	146	54	75	26	42	60	30	34	467
組織会の有無	有	有	有	有	有	有	有	有	
設置年月日	S38年1月	S36年9月	S33年4月	H7年7月	S54年1月	H6年11月	S54年7月	S48年4月	

イ 保健協力員連絡・研修会事業

青森県国民健康保険団体連合会からの助成を受け実施しました。
役員会で研修内容を計画し、それぞれが役割を果たし、主体性を持って取り組みました。

開催日	場 所	研修内容	参加者
平成 28 年 6 月 6 日 (月)	むつ保健所	第 1 回管内保健協力員連絡会役員会 1. 平成 28 年度役員体制について 2. 平成 27 年度下北地方保健協力員連絡会実績報告 3. 平成 27 年度収支決算報告 4. 平成 28 年度収支予算案 5. 平成 28 年度下北地方保健協力員連絡研修会について 6. 各市町村の平成 28 年度活動計画について	18 人
平成 28 年 11 月 4 日 (金)	むつ来さま い館	平成 28 年度下北地方保健協力員連絡会研修会 1. 活動発表 「私たちの活動」 発表団体 むつ市保健協力員会あゆみの会 むつ市川内地区保健協力員会 2. 講習 「正しいウォーキング方法を学んで楽しく活動をしよう！」 講師 青森県ウォーキング協会会長代行 中嶋與志久氏 3. 運動 「身体を意識して動かす！」 ～正しいウォーキング方法の実践～ 4. 交流会	101 人
平成 29 年 2 月 17 日 (金)	むつ保健所	第 2 回管内保健協力員連絡会役員会 ①平成 28 年度活動報告、収支決算報告 ②平成 29 年度活動計画案及び予算案について ③平成 29 年度役員体制について ④情報交換 ・各地区活動経過報告 ・その他	17 人

(2) 食生活改善推進員連絡協議会

地域に密着した食生活改善活動にあたる食生活改善推進員の調理実習等地区組織活動を指導、支援しました。

ア 市町村食生活改善推進員の配置状況

(平成 29 年 4 月現在) (人)

市町村名	むつ市 むつ地区	むつ市 川内地区	むつ市 大畑地区	むつ市 脇野沢地区	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	合計
会員数	31	39	19	12	20	30	30	10	191

イ 管内食生活改善推進員連絡協議会の育成・支援

開催日	場 所	内 容	参加
平成 28 年 4 月 21 日 (木)	むつ保健所	三役会 ・年間事業の検討、管内協議会総会について	3 人
平成 28 年 5 月 12 日 (木)	むつ保健所	第 1 回役員会 ・総会の運営検討、総会資料作成	8 人

平成 28 年 5 月 20 日 (金)	むつ市中央公民館	管内食生活改善推進員連絡協議会並総会びに研修会 研修会 講演「下北地域の健康課題と食生活改善推進 員の活動について」 むつ保健所健康増進課 主幹 中村広美	49 人
平成 28 年 6 月 28 日 (火)	むつ保健所	第 2 回役員会 ・合同研修会の内容検討、3 つの「きる」実践促進講習会 の進め方	7 人
平成 28 年 9 月 2 日 (金)	むつ保健所	第 3 回役員会 ・県委託事業について	8 人
平成 28 年 9 月 2 日 (金)	下北文化会館	管内合同研修会 ・おやこの食育教室 調理実習	28 人
平成 28 年 10 月 5 日 (水)	下北文化会館	3 つの「きる」実践促進講習会	76 人

1 1 虚偽・誇大広告の禁止等食品の表示に関する指導・相談

健康増進法に基づく虚偽・誇大広告の禁止、食品表示法に基づく栄養成分表示等に関する食品の表示が規定通りに行われることを目的として、食品関連業者からの相談を受け、また指導を実施していますが、虚偽・誇大広告の禁止に関する指導・相談及び栄養成分表示に関する指導・相談は 0 件でした。

1 2 感染症予防

(1) エイズ予防関係

エイズ及び性感染症の予防・まん延防止を図るため、保健所に相談窓口を開設し、匿名での相談・無料の検査を月1回実施しています。HIV抗体検査の他、性器クラミジア抗体検査及び梅毒血清検査を行っています。

区分 年度	採血件数		相談件数		相談内訳			
					電話		来所	
	男	女	男	女	男	女	男	女
26	8	4	8	3	8	3		
27	4	7	13	1	13	1		
28	4	3	5		5			

(2) ウイルス性肝炎検査・相談

ウイルス性肝炎（B型・C型）の感染者の早期発見と早期治療に結びつけ、肝硬変、肝がん等への進行を防ぐことを目的に、平成23年4月より無料の検査を月1回実施しています。

区分 年度	採血件数		相談件数		相談内訳			
					電話		来所	
	男	女	男	女	男	女	男	女
26	4	9	2	4	2	4		
27	4	4	2	1	2	1		
28	1	3		1		1		

(3) 感染症発生状況（全数把握感染症）

(人)

病名		平成26年	平成27年	平成28年
一類感染症	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	ペスト			
	マールブルク病			
	ラッサ熱			
二類感染症	急性灰白髄炎			
	結核	10	13	11
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
三類感染症	コレラ			
	細菌性赤痢			
	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	1
	腸チフス			
	パラチフス			
四類感染症	ツツガムシ病		1	

病 名		平成26年	平成27年	平成28年
五類感染症	アメーバ赤痢		1	2
	ウイルス性肝炎（A型・E型除く）			
	梅毒			
	麻しん			
	その他の感染症（省令で規定）		1(カルバペネム耐性腸内細菌感染症)	2(カルバペネム耐性腸内細菌感染症・水痘(入院例))

注) 感染症発生動向調査システムデータから

(4) 感染症サーベイランス事業（定点把握感染症）

管内における定点医療機関は6か所で、インフルエンザ6か所・小児科4か所・眼科1か所・基幹1か所からの報告を集計し、週単位または月単位で県や国へ報告しています。

平成28年において、最も報告数が多いのはインフルエンザ、これに続いて、感染性胃腸炎となっています。

感染症の発生動向をみながら、関係機関に情報提供し感染拡大防止に活用しています。

感染症サーベイランス年次状況

報告(届出)区分	調査単位(届出期間)	疾 患 名	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
インフルエンザ定点	週 (次の月曜)	インフルエンザ	2,615	1,193	1,944
小児科定点	週 (次の月曜)	RSウイルス感染症	44	33	62
		咽頭結膜熱	28	43	8
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	152	103	152
		感染性胃腸炎	1,388	1,166	950
小児科定点	週 (次の月曜)	水痘	539	72	148
		手足口病	8	798	35
		伝染性紅斑	15	205	111
		突発性発しん	60	85	77
		百日咳			2
		ヘルパンギーナ	99	80	132
		流行性耳下腺炎	72	40	149
眼科定点	週 (次の月曜)	急性出血性結膜炎			
		流行性角結膜炎		3	
性感染症定点	月 (翌月初日)	性器クラミジア感染症	19	7	1
		性器ヘルペスウイルス感染症	1		
		尖形コンジローム	2	3	2
		淋菌感染症			
基幹定点	週 (次の月曜)	クラミジア肺炎（オウム病を除く）			
		細菌性髄膜炎			1
		マイコプラズマ肺炎	192	156	240
		無菌性髄膜炎	1		
	月 (翌月初日)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	8	
		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			
		薬剤耐性緑膿菌感染症			
		薬剤耐性アシネトバクター感染症			

1 3 結核患者支援

我が国における近年の結核罹患状況は、若年者層では低いですが、社会の高齢化と共に発病者の高齢化も進み全体では横ばいの傾向にあります。管内では、幸いなことに若年者の発病は少なく、集団感染事例は起きていませんが、受診の遅れや診断の遅れによる重症化がみられます。

平成19年4月1日より結核予防法が「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合され、定期健康診断の結核検診は一般住民・事業所等の必ず検診を受けなければならない者（対象）が緩和されました。一方、接触者健康診断は通知から勧告、措置と強化されました。

(1) 結核診査協議会

結核診査協議会は月2回開催し、結核患者の入院勧告の可否及び医療内容の適否について診査しています。

区分 年度	感染症法第37条の2関係 (医療内容の適否)	感染症法第20条関係 (入院勧告の可否)	計 (件)	備 考
平成28年	11	1	12	
平成27年	13	13	26	
平成26年	13	8	21	

(2) 新登録患者数（市町村・年齢別）

全国的には結核患者が高齢者に偏在する傾向は変わりませんが、若年者の発病も無くならない点を留意しなければなりません。管内の高齢者層の70才以上では、平成26年100%、平成27年83%、平成28年80%となっています。

(平成28年度)

年齢階級	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70	計	結核感染症 (別掲)潜在性
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
市町村	4	9	14	19	29	39	49	59	69			
む つ 市						1				2	3	9
大 間 町												
東 通 村										1	1	
風 間 浦 村										1	1	
佐 井 村												
平成28年						1				4	5	9
平成27年							1			5	6	4
平成26年										7	7	3

(3) 全登録者数（市町村・年齢別）

全登録者数は高齢者層に多く、27年は70歳以上で50%を占めていましたが、28年は30～49歳の比較的若年の層と60歳以上とで、半々となっています。（平成28年12月31日現在）

市町村	年齢階級										
	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70	計
むつ市	4	9	14	19	29	39	49	59	69		
大間町											
東通村											
風間浦村										2	2
佐井村											
平成28年						2	2		1	3	8
平成27年					1	1	2	1	3	8	16
平成26年					1	1	1	1	2	8	14

※ 潜在性結核感染症は除く

(4) 結核患者登録状況（市町村・活動性別）

ア 新登録患者

（平成28年度）

市町村	計	性別		肺結核				活動性 肺外結核
		男	女	登録時菌所見				
				喀痰塗抹陽性		その他の結核菌 陽性	菌陰性 その他	
				初回治療	再治療			
むつ市	2	1	1	1				1
大間町								
東通村	1		1	1				
風間浦村	1		1					1
佐井村								
計	4	1	3	2				2

※ 潜在性結核感染症は除く

イ 全登録患者

(平成28年12月31日現在)

市町村	計	性別		活 動 性 結 核					不活動性結核
		男	女	肺 結 核			活動性肺外核		
				登録時菌所見					
				喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性			
				初回治療	再治療			菌陰性その他	
む つ 市	6	4	2	1		1	3	1	
大 間 町									
東 通 村									
風 間 浦 村	2		2	1				1	
佐 井 村									
計	8	4	4	2		1	3	2	

※ 潜在性結核感染症は除く

(5) 結核患者有病率及び罹患率

人口の少ない町村では、患者 1 人が有病率・罹患率に与える影響が大きく、増減の変動が大きくなるため単年の結果による評価が困難ですが、平成 26 年から罹患率が減少しています。

区分	人口 H28・10・1推定人口	登録活動性 患者数	有病率 (人口10万人対)	新登録 患者数	罹患率 (人口10万人対)
む つ 市	57,710	6	10.39	2	3.5
大 間 町	5,121				
東 通 村	6,476			1	15.44
風 間 浦 村	1,918	2	104.27	1	52.13
佐 井 村	2,082				
平成 28 年	73,307	8	10.91	4	5.5
平成 27 年	74,459	0	0	6	8.1
平成 26 年	75,804	3	4.0	7	9.2

(注) 登録活動性患者数：有病率は平成 28 年 12 月 31 日現在

新登録患者数：罹患率は平成 28 年中

※ 有病率 = (年末活動性全結核患者数) ÷ (人口) × (10 万)

※ 罹患率 = (年間新登録患者数) ÷ (人口) × (10 万)

※ 潜在性結核感染症は除く

(6) 定期結核健康診断

ア 一般住民結核検診状況

(平成 28 年度)

種別 市町村別	胸部X線撮影			BCG接種		
	対象数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B)/(A) %	対象数 (C)	被注射者数 (D)	受診率 (D)/(C) %
むつ市	12,345	2,825	22.9	374	405	108.3
大間町	1,722	297	17.2	34	25	73.5
東通村	2,275	765	33.6	52	42	80.8
風間浦村	1,030	383	37.2	6	6	100.0
佐井村	1,657	346	20.9	6	3	50.0
平成28年	19,029	4,616	24.3	472	481	101.9
平成27年	15,286	4,154	27.2	563	549	97.5
平成26年	16,748	4,051	24.2	632	587	92.9

(注) (B) は間接撮影を省略して直接撮影のみ行った者を含む。

イ その他事業所等結核健康診断状況

(平成 28 年度)

	エックス線検査			精密検査 指導区分			
	対象数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B)/(A) %	対象数 (C)	受診者数 (D)	受診率 (C)/(D) %	菌検査
使用者	2,439	2,310	94.7	16	9	56.3	
学校長	661	657	99.4	9	9	100.0	
施設長	627	573	91.4	26	26	100.0	
平成28年度	3,727	3,540	95.0	51	44	86.3	
平成27年度	2,105	2,017	95.8	29	28	96.6	
平成26年度	2,207	2,094	94.9	41	33	80.5	1

(7) 接触者健康診断

接触者健康診断においては、胸部X線検査 12 件、QFT-3G検査 14 件実施しました。

接触者 健康診断	胸部X線検査 直接撮影者数	QFT-3G検査数	被発見者	
			結核患者	発病の恐れがある者
家族	4	7		
その他	8	7		

(8) 相談及び訪問指導状況

全登録者 11 名のうち、11 名に対し延べ 24 件の訪問指導を実施しました。所内相談は 12 件、電話相談は接触者や施設からの感染不安、健診等を主に 31 件でした。

(9) 結核対策特別促進事業

ア 院内 DOTS カンファレンス

喀痰塗沫陽性患者 1 名について、独立行政法人国立病院機構青森病院で入院中に死亡となったため、実施はありませんでした。

実施回数：0 回

イ 地域 DOTS カンファレンス

対象者がありませんでした。